

第1報

平成24年6月27日
大隅河川国道事務所

記者発表資料 国道220号(牛根境)災害箇所今後の 対応について 10時00分発表

国道220号 垂水市牛根境付近(178k000^ホ付近)の法面崩落箇所については平成24年6月24日7時00分に全面解放したところです。

抜本的対策については、今後検討することにしておりますが、TEC-DOCTORの鹿児島大学大学院准教授の井村隆介先生による現地調査結果をもとに当面の間、下記のとおりとします。

○下記の何れかの場合、土砂崩壊のおそれがありますので、全面通行止めを実施します。

- ①牛根境雨量計(被災箇所直近、国土交通省設置)の連続雨量が200mm以上となった場合。
- ②牛根境雨量計(被災箇所直近、国土交通省設置)の1時間雨量が30mm以上、または、連続雨量が140mm以上となった場合。(今回追加)
- ③現地監視で危険と判断された場合(今回追加)

○全面通行止め区間

- ①L=3.8km(174k500~178k300)
- ②、③L=1.0km(177k300~178k300)

○全面通行止めの解除基準

- ①1時間雨量2mm以下が3時間継続し、安全が確認された場合。
- ②1時間雨量2mm以下が3時間継続し、安全が確認された場合。
- ③現地確認後、安全が確認された場合。

道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

鹿児島県肝属郡肝付新富1013-1
電話(0994)65-2541

事務副所長

かわぞえ

川添

道路管理課長

なかしま
中島

まさずみ

正純

こうじ
浩二

(内線202)

(内線431)

迂回路図

迂回路
国道10号

国分敷根交差点

被災箇所

牧之原交差点

国道504号
迂回路

迂回路
県道71号

